

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 川 島 敦  
(コード番号 4321 東証1部)  
問 い 合 わ せ 先 取締役経営企画部長 吉 川 泰 司  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

## 平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 20 年 12 月 11 日に公表しました平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の通期業績予想を修正するとともに、特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

#### (1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	135,500	21,300	10,700	△7,500	△11,783 円 81 銭
今回修正 (B)	137,400	16,200	5,300	△10,800	△16,980 円 11 銭
増減額 (B-A)	1,900	△5,100	△5,400	△3,300	—
増減率 (%)	1.4%	△23.9%	△50.5%	—	—

ご参考：前期の実績（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績	138,025	30,863	26,120	14,662	24,833 円 95 銭
-----------	---------	--------	--------	--------	---------------

#### (2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	15,800	12,400	12,300	△6,000	△9,427 円 05 銭
今回修正 (B)	15,800	5,500	5,000	△12,600	△19,822 円 95 銭
増減額 (B-A)	—	△6,900	△7,300	△6,600	—
増減率 (%)	—	△55.6%	△59.3%	—	—

ご参考：前期の実績（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績	26,674	23,106	21,686	13,352	22,606 円 96 銭
-----------	--------	--------	--------	--------	---------------

## 2. 業績予想の修正理由及び特別損失の計上

### (1) 連結

平成20年12月11日付「平成20年12月期通期業績予想の修正、特別損失の計上、配当予想の修正、並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社の保有する物件の売却や匿名組合出資持分の譲渡に伴う損失、さらに株式市場の低迷等により、期末時点で保有する有価証券において減損処理等を行い、合計として約215億円の特別損失を見込んでおりました。

しかしながら、前回予想においては特別損失として見込んでいた、子会社に対する匿名組合出資持分の譲渡に伴う損失約67億円について、営業取引として認識したこと等により、特別損失の計上額は合計約118億円に減少したものの、営業利益・経常利益段階では減益要因となりました。加えて、前回予想では特別損失の計上に伴う税効果を勘案しておりましたが、金融市場の混乱により、不動産投資市場及び資金調達環境が大きな影響を受けている中で、来期以降の所得見通しが不透明なこと等から、当社単体における繰延税金資産の計上を見送ることといたしました。これらにより、当期純損失が拡大することとなりました。

この結果、通期の営業利益、経常利益及び当期利益が予想を下回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正することといたしました。

### (2) 個別

連結業績予想の修正理由と同様、保有有価証券の評価損等を中心として特別損失（合計約169億円）を計上したこと、子会社に対する匿名組合出資持分の譲渡に伴う損失の計上区分の変更、加えて税効果を勘案しなかったこと等を理由として、通期の営業利益、経常利益及び当期利益が予想を下回る見込みとなったため、業績予想を修正することといたしました。

以 上